

天王寺動物園の水道使用量の削減に向けた マーケット・サウンディング（市場調査） 結果の公表について

1. マーケット・サウンディング実施の経緯

- ・天王寺動物園（以下、「当園」という。）では、動物の生命維持や飼育管理に大量の水道を使用しており、今後の新獣舎整備に伴って使用水量が増加することが見込まれています。
- ・また、当園ではSDGsポリシー『「ひとにも動物にもやさしい動物園」の取り組みでSDGsを推進します』を掲げ、節水に努めるなどの環境負荷低減に取り組んでいます。
- ・さらに、災害等による断水時においても、動物たちの生命維持に不可欠な水を確保する必要があります。
- ・今回のマーケット・サウンディング（市場調査）では、上記を踏まえた3つの観点（経費削減、環境対策、災害対策）から、水道使用量の削減に関する効率的・効果的・経済的な手法の検討や条件等を把握するため、民間事業者の皆さまとの「対話」を通じて、実現可能な事業手法のアイデアやノウハウについて広くお聞きすることを目的として、マーケット・サウンディング（市場調査）を実施しました。
- ・対話では1社の民間事業者から活用について意見を頂きましたので、その概要を公表します。なお、提案事業者の名称は非公開とし、提案内容についてはアイデア及びノウハウ保護のため、概要のみの公表とします。

2. マーケット・サウンディングの実施スケジュール

- ・令和5年 8月 18日（金） 実施要領の公表
- ・令和5年 9月 19日（火） 現地見学会の実施
- ・令和5年 10月 30日（月） 対話の実施
- ・令和5年 11月 24日（金） 結果概要の公表

3. マーケット・サウンディングの参加者

- (1) 現場見学会参加者 2社
- (2) 対話参加者 1社

4. マーケット・サウンディング提案及び対話内容

提案する事業	SDGs 再生精製水プラント事業
提案の内容	水をリサイクル・軽減し、地球環境にやさしい循環型社会を構築するとともに、水道使用料金を削減するもの。
事業方式	リース方式 10年(リース終了後所有権移転)
企画、効果等	<ul style="list-style-type: none">・水資源の再利用・空調消費電力の削減・二酸化炭素の排出量の軽減
意見等	<ul style="list-style-type: none">・リース方式のため初期投資費用が抑制できる。・SDGs 再生精製水を、動物の生活用水や施設の洗浄用水として使用できる。また、ミスト散水としても使用できる。・プラント設備(配管含む)の設置工事が必要となる。

5. マーケット・サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のマーケット・サウンディングにより、水資源の有効活用、空調消費電力の削減、二酸化炭素の排出量の軽減、リース方式による工事及び設備工事費用の負担軽減などの提案をいただきました。

提案では、初期投資や管理費用、および収支予測において、近年の資材費や人件費の高騰による経費削減が難しい可能性があることを確認できました。また、課題として、この事業を実施するにあたって、園内各所に給水設備や配管の埋設工事が必要であり、現在園内で進めているリニューアル工事とあわせて掘削工事等を進めることが困難であることがわかりました。

今後、マーケット・サウンディングの結果を考慮し、使用水道量(料)の増減や整備時期による初期投資費用(プラント設置等)の増減など収支予測の把握に努め、効率的で効果的かつ経済的な手法による水道使用量の削減について、引き続き検討を進める予定です。